

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都市八条市営住宅団地再生事業	階数	地上7F
建設地	京都市南区唐橋平坦町24番	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	920 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 0.0	評価の実施日	2018年10月30日
敷地面積	6,833.15 m ²	作成者	(株)長谷工コーポレーション 小林
建築面積	2,476.64 m ²	確認日	2018年10月31日
延床面積	11,270.91 m ²	確認者	中田



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ 温暖化影響チャート	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 3.1 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★★★★★</p> <p>30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Q のスコア = 3.9</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.7</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.4</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 4.7</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 4.0</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.5</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.8</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.7</p>

3 設計上の配慮事項		
総合	周辺の環境に配慮した色彩計画で落ち着いた住宅空間を演出する。	
その他		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
室内環境の向上を目指し、F☆☆☆☆建材を使用している。	劣化等級3取得予定	敷地周辺に緑地を設け、良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
断熱性能等級4を取得予定。	有害物質を含まない建材種別を採用している。	適切な駐車スペースを確保し、敷地内外の環境に配慮した計画を行っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される